

2023となみチューリップフェア特別展

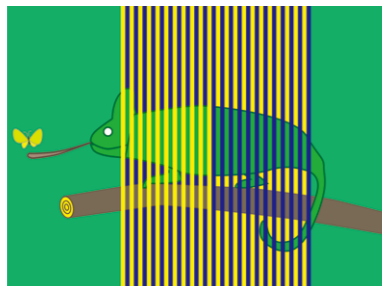
錯覚美術館 ～脳がだまされる!ふしぎな世界!～

4月8日(土)～6月11日(日)

目の錯覚とは、目に見えたものが、事実とは異なって見えてしまう現象です。明治大学研究特別教授の杉原厚吉氏は、人間の目が引き起こす様々な錯覚を数理的に解き明かし、世界最先端の錯視・錯覚作品を発表しています。本展では、図形を用いた二次元錯視や不可能図形の騙し絵を立体化した作品から国際ベスト錯覚コンテストで優勝した作品を紹介します。何度見てもだまされる!驚きと不思議に満ちた世界に誘います。



透身立体「消えた鶏1」



錯視絵「身を隠すカメレオン2」

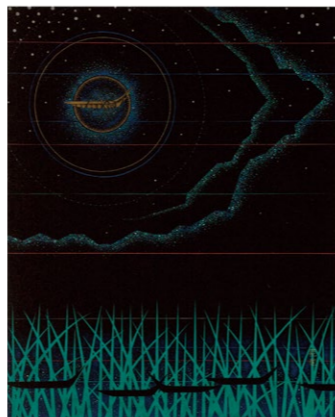
となみ野4人展

6月24日(土)～7月30日(日)

となみ野美術展に出品を重ねてきた4人の作家を紹介します。今回は彫刻家 加茂為男、漆芸作家 志観寺範従、木工芸作家 前川正治、書家 松本輝之による作品を展示します。



加茂 為男《リラックスタイム》2013年



志観寺 範従《夜》2011年



前川 正治《希望》2022年



松本 輝之《雲龍》2020年

木村伊兵衛展 —写真に生きる

9月9日(土)～11月5日(日)

日本の写真史に大きな足跡を残した木村伊兵衛(1901～74年)の写真展。木村は、昭和初期に実用化が始まったばかりの小型カメラに写真表現の可能性を見出し、被写体の一瞬を捉える「スナップショット」といわれるスタイルを確立しました。撮影対象は、肖像や舞台から、ヨーロッパ、中国での取材や、東京の下町や日本の農村まで多岐に渡り、数多くの傑作写真を発表して来ました。その中から選りすぐりの作品約130点で木村伊兵衛の世界を紹介します。



木村 伊兵衛《秋田おぼこ、大曲、秋田》1953年 ©Naoko Kimura

「スナップショット」といわれるスタイルを確立しました。撮影対象は、肖像や舞台から、ヨーロッパ、中国での取材や、東京の下町や日本の農村まで多岐に渡り、数多くの傑作写真を発表して来ました。その中から選りすぐりの作品約130点で木村伊兵衛の世界を紹介します。

2023 4 5 6 7 8 9 10 11 12 2024 1 2 3

企画展

2023となみチューリップフェア特別展
錯覚美術館 ～脳がだまされる!ふしぎな世界!～
4月8日(土)～6月11日(日)
観覧料:一般800円、18歳以下100円、未就学児無料
(企画展示室)

となみ野4人展
加茂為男・志観寺範従・前川正治・松本輝之
6月24日(土)～7月30日(日)
観覧料:一般600円、18歳以下無料
(企画展示室)

中学生清流展
8月11日(金・祝)
～8月27日(日)
観覧無料
(企画展示室)

木村伊兵衛展 —写真に生きる
9月9日(土)～11月5日(日)
観覧料:一般800円、18歳以下無料
(企画展示室)

第19回 砺波市美術展〈市展〉
11月18日(土)～12月17日(日)
観覧無料
(企画展示室、常設展示室2・3)

館藏品展
1月13日(土)～2月25日(日)
観覧無料
(企画展示室)

第20回 砺波市美術協会 会員展
3月9日(土)
～3月31日(日)
観覧無料
(企画展示室、市民ギャラリー)

常設展

工芸の秀作
4月8日(土)～6月18日(日)

下保 昭 (日本画)
4月8日(土)～6月18日(日)

清原 啓一 (洋画)
4月8日(土)～6月18日(日)

工芸の秀作
6月24日(土)～9月3日(日)

高道 宏 (写真)
6月24日(土)～9月3日(日)

川辺 外治 (洋画)
6月24日(土)～9月3日(日)

工芸の秀作
9月9日(土)～11月5日(日)

版画の世界
9月9日(土)～11月5日(日)

藤森 兼明 (洋画)
9月9日(土)～11月5日(日)

工芸の秀作
11月18日(土)～1月21日(日)

ロベール・ドアノー (写真)
12月20日(水)～2月12日(月・振休)

永原 廣 (彫刻)
12月20日(水)～2月12日(月・振休)

工芸の秀作
1月23日(火)～

ジャンルー・シーフ (写真)
2月17日(土)～

日本画の世界
2月17日(土)～